



HPを  
チェック

他のニュースも、ホームページで随時更新中!

## 令和8年の高値取引願ひ初市式 和牛牛初せり

全農いわて中央家畜市場(栗石町)で1月15日、子牛の初せりが行われ、JAいわて花巻とJAいわて中央から234頭が上場しました。せりに先立って行われた初市式では関係者による鏡開きを行い、今年の高値取引を祈願しました。  
1頭あたりの平均価格は74万9283円で、JA管内の最高落札は菊池由隆さん(遠野市松崎町)の「福百合」(去勢・314kg)でした。



鏡開きを行う高橋組合長(右から4番目)ら関係者

## 農業・お金についてゲームで学ぶ 花巻農業高校1年生に出前授業

JAは1月22日、岩手県立花巻農業高等学校生物科学科の1年生を対象に、農業経営やお金について学ぶ金融教室を開き、金融部門に所属する職員8人が講師を務めました。  
農業経営シミュレーションゲームに挑戦した生徒たちは、売り上げや借入額を計算したり、経営改善策を相談したりと、将来的に利益を増やすための手立てについて意見を交わしていました。



グループワークに取り組む生徒たち

## だあすこ沿岸店が創業10周年! 節目を祝い祝賀会を開催

JAの産直、母ちゃんハウスだあすこ沿岸店(大槌町大槌)は今年、創業10周年の節目を迎えました。1月18日には記念祝賀会を開き、沿岸産直部会の会員をはじめ関係者約50人が出席しました。  
同部会の川崎郷泉部会長は「東日本大震災後にオープンし、昨年末までに約70万人にご来店いただいた。農畜産物の新鮮・安全を心掛け、さらに店舗が発展することを願っている」と話しました。

### 創業10周年記念祝



10周年を迎えた喜びと今後の抱負を語る川崎部会長

## 単価確保を目指し体制構築 さといも専門部実績検討会

さといも専門部は1月29日、東和温泉(花巻市東和町)で令和7年度の実績検討会を開きました。  
今年度は、渇水による生育の停滞を受け、昨年度に比べ出荷数量が減少しましたが、市場での引き合いは強く、販売単価は堅調に推移しました。令和8年度は10月中旬以降、収穫ピークを迎える時期の販売を強化し、単価を確保できる体制構築に取り組むことを確認しました。



令和7年度の実績を確認する参加者たち

## 需要期の出荷数量確保目指す 西和賀花き栽培反省会

西和賀花卉生産組合は1月15日、湯田・沢内支店(西和賀町沢内)で「令和7年度花き栽培反省会」を開きました。  
令和7年度は高温少雨によりリンドウの生育が遅れ、最需要期である8月の出荷が減少したことを受け、次年度は早生種の作付けを拡大し、出荷数量確保に取り組むことを確認しました。同組合の高橋文昭組合長は「課題を見直し次年度の高栽培につなげてほしい」と話しました。



生産者に向けてあいさつする高橋組合長

## 若手農家が経営学ぶ 次代を担う野菜農家研修会

野菜部会は1月23日、総合営農指導拠点センター(花巻市野田)で「次代を担う野菜農家研修会」を開きました。管内の若手農家が参加し、農業ジャーナリストの鈴木雄人さんの講演や市場関係者によるプレゼンテーションを通じて、JAの事業や流通、販売について学びました。  
千葉信夫副部会長は「今後の部会を担う若い力で、管内の野菜生産をさらに盛り上げてほしい」と期待を込めました。



農業経営を学ぶ若手農家の皆さん

## 若手生産者集い剪定学ぶ 気軽に情報交換できる場に

果樹部会若手りんご生産者グループ「THE RINGO STAR」は1月16日、伊藤敬治さん(花巻市成田)の園地で剪定講習会を開きました。若手生産者10人が参加し、枝の残し方や伸び方について活発に意見を交わしました。  
初めて参加した晴山裕美さん(同市石鳥谷町)は「剪定は難しい作業なので、気兼ねなく質問しながら理解を深められて良かった」と振り返りました。



どの枝を切り落とすか話し合う参加者たち

## 県産米コンテストで受賞多数 「銀河のしずく」と「ひとめぼれ」

県とJA全農いわてでは1月28日、ホテルニューカーリーナ(盛岡市菜園)で県産米コンテストの合同表彰式を開きました。  
「銀河のしずく」頂上コンテストでは、及川雄孝さん(花巻市小瀬川)と高橋盛輝さん(北上市滑田)が「若手県産銀河のしずく栽培研究会会長賞」を受賞し、表彰を受けました。令和7年度若手県産ひとめぼれ「H-1」グランプリでは、当JA花巻市地域が優秀賞を受賞しました。



表彰を受けた(左から)及川さん、高橋さん、JAの高橋新也部長